

2 学 期	6 実用の文章2 ・読み手が必要とする情報に応じて企画書を書く。 ・相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 ・声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「情報を整理しながら話し合おう」 ・教材「新聞記事を読んで意見文を書こう」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。	○			【知識・技能】 ・実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔I1エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。〔B1イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料等を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、表現や構成に工夫を凝らして、学習課題に沿って適切に企画書を作成しようとしている。	○	○	○	2
	7 視野を広げる ・具体と抽象の対応をとらえ、情報を読み取る。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「無彩の色」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。	○			【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。〔I1ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C1ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	8 社会とかかわる ・文章中の表現の具体例を探し、その内容を文章にまとめる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「森で染める人」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方の理解を深めさせる。 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にさせる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。	○			【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。〔2エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B1ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りや社会の中から積極的に適切な事例を調査し、学習課題に沿ってわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	4
	定期考査					○	○		1	
	9 具体と抽象 ・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材「美しさの発見」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方を理解させる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫させる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢を育てる。	○			【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。〔1カ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。〔B1ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	○	○	○	7

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：(A組：西村)

(B組：川崎)

(C組：西村)

(D組：西村)

(E組：西村)

(F組：川崎)

使用教科書：(数研出版「高等学校 言語文化」)

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
古1 古文の世界を楽しむ 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「宇治拾遺物語」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 ・積極的に兎と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとする。			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2ウ〕 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【学びに向かう力】 積極的に兎と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1
古2 現代にも生きる教え 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「徒然草」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 ・粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理させる。			○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2ウ〕 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【学びに向かう力】 粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。	○	○		6
漢1 日本語の中に生きる漢文 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「入門一・二」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもたせる。 ・漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明させる。			○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔2ア〕 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 【学びに向かう力】 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6

1 学 期	漢2 故事と成語 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 古3 和歌による心の交流 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「戦国策」「韓非子」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組ませる。 ・教材「伊勢物語」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えさせる。 ・粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈させる。	○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【2ア】 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。[B(1)エ] 【学びに向かう力】 故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
2 学 期	漢3 読み継がれる歴史 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「十八史略」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組ませる。	○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。[B(1)エ] 【学びに向かう力】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	○	○	○	6
	古4 平安宮廷文学の世界 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「枕草子」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもたせる。 ・積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書かせる。	○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ] 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。[B(1)オ] 【学びに向かう力】 積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	○	○	○	6
定期考査				○	○		1	

2 学 期	古5 戦乱下の人間像 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「平家物語」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。 ・「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く取り組ませる。	○	○	○	○	6
	漢4 漢詩のことはば 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「静夜思」他 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・漢詩を創作する課題において、粘り強く取り組ませる。	○	○	○	○	6
	現1 受け継がれる漢文 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・教材「山月記」 ・「ロイロノート」「Teams」等のツールを用い、一人1台端末を活用する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・『山月記』と『人虎伝』の違いとその理由を粘り強く検討し、これまでの学習を生かして考察させる。	○	○	○	○	4
	定期考査					○	○

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2

単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者 吉田 宣浩

使用教科書：地理総合（二宮書店）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史的展開に関して理解するとともに、様々な資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて考察したりする力や、それらを効果的に説明・議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指し課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚を深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、空間的な諸事象の規則性や世界の諸事象の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようになる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連について、人間と自然環境とのかかわりの中で特に地域に着目して多面的・多角的に考察する力やそれを効果的に説明・議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指し課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	地図とGISの活用 【知識及び技能】球面上の世界世界から見た日本の位置と領域について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】球面上の世界世界から見た日本の位置と領域について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】球面上の世界世界から見た日本の位置と領域について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークへの積極的な姿勢を見せる、授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	5
	地図とGISの活用 【知識及び技能】国内や国家間の結びつき暮らしの中の地図とGISについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】国内や国家間の結びつき暮らしの中の地図とGISについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】国内や国家間の結びつき暮らしの中の地図とGISについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業ノートの提出や授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	地球的環境の特色 【知識及び技能】地形と生活文化気候と生活文化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】地形と生活文化気候と生活文化について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】地形と生活文化気候と生活文化について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークへの積極的な姿勢を見せる、授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	6
	地球的環境の特色 【知識及び技能】産業と生活文化宗教言語と生活文化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】産業と生活文化宗教言語と生活文化について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】産業と生活文化宗教言語と生活文化について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業ノートの提出や授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	6
2 学期	世界各地の生活文化 【知識及び技能】経済発展と生活文化の変化東アジア宗教の多様性と生活文化ASEAN諸国水の恵みと生活文化南アジアについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】経済発展と生活文化の変化東アジア宗教の多様性と生活文化ASEAN諸国水の恵みと生活文化南アジアについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】経済発展と生活文化の変化東アジア宗教の多様性と生活文化ASEAN諸国水の恵みと生活文化南アジアについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークへの積極的な姿勢をみせる、授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	6
	世界各地の生活文化 【知識及び技能】イスラーム社会の多様性と生活文化イスラーム圏多様な気候と生活文化アフリカについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】イスラーム社会の多様性と生活文化イスラーム圏多様な気候と生活文化アフリカについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】イスラーム社会の多様性と生活文化イスラーム圏多様な気候と生活文化アフリカについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業ノートの提出や授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	世界各地の生活文化 【知識及び技能】経済統合による生活文化の変化EUと周辺諸国寒冷な気候と生活文化ロシアについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】経済統合による生活文化の変化EUと周辺諸国寒冷な気候と生活文化ロシアについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】経済統合による生活文化の変化EUと周辺諸国寒冷な気候と生活文化ロシアについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークへの積極的な姿勢を見せる、授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	8
	世界各地の生活文化 【知識及び技能】グローバル化による生活文化の変化アメリカカナダ土地の開発による生活文化の形成ラテンアメリカ植民と移民による生活文化の形成オセアニアについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】グローバル化による生活文化の変化アメリカカナダ土地の開発による生活文化の形成ラテンアメリカ植民と移民による生活文化の形成オセアニアについて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】グローバル化による生活文化の変化アメリカカナダ土地の開発による生活文化の形成ラテンアメリカ植民と移民による生活文化の形成オセアニアについて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業ノートの提出や授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
3 学期	地球の課題と国際協力 【知識及び技能】地球の課題と国際協力について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】地球の課題と国際協力について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】地球の課題と国際協力について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】グループワークへの積極的な姿勢を見せる、授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	7
	生活圏の諸課題 【知識及び技能】生活圏の諸課題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめる表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】生活圏の諸課題について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、視聴覚教材、写真パネルほか。	【知識・技能】生活圏の諸課題について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業ノートの提出や授業中の発問に的確に答えることが出来る	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
						合計	70

教科：地理歴史

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：世界史分野（1単位）：石井増男

日本史分野（1単位）：町田頌

使用教科書：歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史的展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、構想、考察したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 【知識及び技能】産業革命期から19世紀にかけてのヨーロッパ情勢について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】産業革命期から19世紀にかけてのヨーロッパ情勢について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】産業革命期から19世紀にかけてのヨーロッパ情勢について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○		○	5
第3章 明治維新と日本の立憲体制 【知識及び技能】幕末から明治にかけての政治について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】ペリー来航以降の幕末の動乱を、当時の世界的な状況のなかで理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】幕末から明治にかけての政治について理解している 【思考・判断・表現】幕末から明治の政治について考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 【知識及び技能】独立革命以降のアメリカの情勢とアジアの状況について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】独立革命以降のアメリカの情勢とアジアの状況について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】独立革命以降のアメリカの情勢とアジアの状況について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解してうえで考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	6
第3章 明治維新と日本の立憲体制 【知識及び技能】明治立憲体制の形成過程と民衆の動向について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】明治立憲体制の形成過程と民衆の動向について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】明治立憲体制の形成について理解する。またそれに対する民衆の動向について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解したうえで、考えをまとめ表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○		○	6
定期考査			○	○		1
第4章 帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】帝国主義の展開と日清戦争・日露戦争とを結びつけて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】帝国主義の展開を日清戦争・日露戦争と関連づけて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】帝国主義の展開を日清戦争・日露戦争と関連づけて理解している 【思考・判断・表現】上記を理解したうえで、考えをまとめて表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	6
第5章 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】第一次世界大戦とロシア革命以降の世界情勢について理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】第一次世界大戦とロシア革命以降の世界情勢について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】第一次世界大戦とロシア革命以降の世界情勢について理解している 【思考・判断・表現】上記を理解したうえで、考えをまとめて表現することが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
第6章 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】世界恐慌と第二次世界大戦の勃発について因果関係を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】世界恐慌と第二次世界大戦の勃発について因果関係を理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】世界恐慌と第二次世界大戦の勃発について因果関係を理解している 【思考・判断・表現】上記について考えをまとめて表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	8
第7章 戦後の国際秩序と日本の改革 【知識及び技能】日本における戦後の民主化について国際状況と関連づけて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】日本における戦後の民主化について国際状況と関連づけて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】日本における戦後の民主化について国際状況と関連づけて理解している 【思考・判断・表現】上記について考えをまとめて表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
第8章 冷戦と世界経済 【知識及び技能】米ソを中心とした陣営の対立を世界経済と関連づけて理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】米ソを中心とする二陣営の対立を世界経済と関連づけて理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】米ソを中心とする二陣営の対立を世界経済と関連づけて理解している 【思考・判断・表現】上記について考えをまとめて表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	7
第9章 グローバル化する世界 【知識及び技能】冷戦終結後の世界情勢を理解する 【思考力、判断力、表現力等】上記について考えをまとめ表現する 【学びに向かう力、人間性等】学び思考したことを現在の状況と比較し考察する	【指導内容】冷戦終結後の世界情勢について理解させる 【教材】教科書、授業プリント、掛け地図、写真パネルなど	【知識・技能】冷戦終結後の世界情勢について理解している 【思考・判断・表現】上記について考えをまとめて表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】授業プリントの提出や授業中の教員の発問に対して的確に答えることが出来る	○	○	○	7
定期考査				○		1
					合計	70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組
 教科担当者： (A組：角本) (B組：高池) (C組：高池) (D組：高池) (E組：角本) (F組：高池)
 使用教科書： (N E X T 数学 I 数研出版)
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数
学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け
るようになる
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認
識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確
に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的
論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めた
り、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析に ついての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解 するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に 付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に みたり目的に応じて適切に変形し たりする力、図形の構成要素間の関係に着目 し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、 グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の 事象などから設定した問題について、 データの散らばりや変量間の関係などに着目 し、適切な手法を選択して分析を行い、 問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的 に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態 度、粘り強く考え数学的論拠に基 づいて判断しようとする態度、問題解決の過程 を振り返って考察を深めたり、評 価・改善したりしようとする態度や創造性の基 礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
A 数と式 【知識及び技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 ・二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。	・指導内容 (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (9) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 (4) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 ・二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断し、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	19
中間考査			○	○		1
A 数と式 【知識及び技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。	・指導内容 (4) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 (2) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 (7) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 (9) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (2) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。 ・一次方程式を解く方法や不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断し、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	10
期末考査			○	○		1

2 学 期	<p>C 二次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 二次関数の最大値や最小値を求めること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。 	<p>・指導内容</p> <p>(7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>(4) 二次関数の最大値や最小値を求めること。</p> <p>(7) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p> <p>(4) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 スタディサプリ ロイロノート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	○	○	○	16
	中間調査			○	○		1
	<p>C 二次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。 	<p>・指導内容</p> <p>(9) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。</p> <p>(7) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p> <p>(4) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 スタディサプリ ロイロノート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	○	○	○	19
	<p>D 図形と計量</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。 	<p>・指導内容</p> <p>(7) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p> <p>(4) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。</p> <p>(7) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p> <p>(4) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 スタディサプリ ロイロノート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	○	○	○	11
期末調査			○	○		1	

3 学 期	<p>D 図形と計量</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。 	<p>・指導内容</p> <p>(9) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p> <p>(7) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p> <p>(4) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	○	○	○	15
	<p>D データの分析</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。 <p>・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断すること。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善すること。 	<p>・指導内容</p> <p>(7) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。</p> <p>(4) コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。</p> <p>(9) 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解すること。</p> <p>(7) データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。</p> <p>(4) 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。</p> <p>(9) 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすること。</p> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	○	○	○	11
	学年末考査				○	○	
							105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組
 教科担当者： (A B組： 柴宮・國井・高池) (C D組： 柴宮・國井・高池) (E F組： 柴宮・國井・高池)
 使用教科書： (NEXT 数学A (数研出版))
 教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数
学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け
るようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認
識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確
に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的
論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、
評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確定な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、 論理的に考察する力を養う	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。」	・指導内容 (ア) 集合に理解すること。 (イ) 集合の要素の個数を求める。 (ウ) 順列や組み合わせの総数を求める。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。」	○	○	○	9
	中間考査			○	○		1
	A 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。 ・条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。」	・指導事項 (エ) 事象と確率について理解する。 (オ) 確率の基本的性質を理解する。 (カ) 独立な試行における確率や条件付き確率を求める。 (キ) 期待値を求める。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めている。 ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めている。 ・条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。 【思考・判断・表現】 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察している。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っているか。」	○	○	○	12
期末考査				○	○		1

2 学期	A 図形の性質 【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解すること。 ・円に関する基本的な性質について理解すること。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。」	・指導事項 (ア)三角形の角の二等分線と辺の比の関係を理解する。 (イ)三角形の外心内心重心を理解する。 (ウ)チェバ・メネラウスの定理を利用して、辺の比を求める。 (エ)円の性質を理解する。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。」	○	○	○	14
	中間考査			○	○		1
	A 図形の性質 【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解すること。 ・円に関する基本的な性質について理解すること。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。」	・指導事項 (ア)三角形の角の二等分線と辺の比の関係を理解する。 (イ)三角形の外心内心重心を理解する。 (ウ)チェバ・メネラウスの定理を利用して、辺の比を求める。 (エ)円の性質を理解している。 (オ)2つの円と作図について理解する。 (カ)直線と平面、多面体について理解する。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。」	○	○	○	14
期末考査			○	○		1	
3 学期	C 数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。 ・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察すること。 ・パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うこと。」	・指導事項 (ア)約数と倍数について理解する。 (イ)素数と素因数分解を理解する。 (ウ)最大公約数と最小公倍数を求める。 (エ)ユークリッドの互除法を用いて、最大公約数を求める。 (オ)1次不定方程式を解く。 (カ)記数法、座標の考え方を理解する。 (キ)ゲーム・パズルを数学的に処理する。 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・スタディサプリ ・ロイロノート	【知識・技能】 ・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。 ・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 ・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察している。 ・パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「学びに向かう力、人間性等」に関わる資質・能力を、「数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。」	○	○	○	16
	学年末考査			○	○		合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～F組
 教科担当者：（A組：赤間大志）（B組：赤間大志）（C組：吉田雪絵）（D組：赤間大志）（E組：吉田雪絵）（F組：吉田雪絵）

使用教科書：（啓林館「i版 化学基礎」（化基707））

- 教科 理科 の目標：
- 【知識及び技能】 自然の事物・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象に関して、理科の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	日常生活や社会との関連を図りながら、自然の事物・現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を活用して表現することができる。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 物質の構成 第1節 物質の成分と構成元素 【知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、物質の成分と構成元素について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の成分と構成元素についての観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を活用して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の成分と構成元素に主体的に関わり、見通しをもって振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・混合物と純物質の定義をし、日常に存在する物質を定義に基づいて分類する。 ・混合物の分離方法及び精製方法について整理する。 ・純物質をさらに化合物と単体に分類できることを定義し、日常の物質などをこの定義に基づいて分類する。 ・単体になる元素は炭素、硫黄、リン、酸素の4種類であることを整理し、各同素体の性質等をまとめる。 ・元素の確認方法として炎色反応を取り上げ、観察・実験を通して各元素の成分を特定する。 ・沈殿反応を利用することによって塩素・硫黄・炭素・水素の元素を確認することができる。 ・物質の三態は固体、液体、気体からなることを確認し、それらの状態と気体分子の熱運動が深く関わっていることを整理する。 ・温度の表現には日常で用いるセルシウス温度【℃】と絶対温度【K】があり、それらの関係性についてまとめる。 	【知識・技能】 ・様々な物質を単体・化合物・混合物のいずれかに分類することができる。 ・分離方法や生成方法に関する操作について理解している。 ・セルシウス温度を絶対温度に直すことができる。 【思考・判断・表現】 ・様々な物質をガスバーナーの外炎に入れ、その色を観察することでどの元素が含まれているかを適切に判断することができる。 ・物質の状態変化について、各状態について分子のモデルを用いて適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の成分と構成元素について、学習した用語どうしのつながりを自身で整理し、客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
1 学年 第1章 物質の構成 第2節 原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、原子の構造と元素の周期表について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 原子の構造と元素の周期表についての観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を活用して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の構造と元素の周期表について主体的に関わり、見通しをもって振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造は原子核及び電子から成り、その原子核は陽子と中性子から構成されていることを整理する。 ・指数の扱い方を整理するとともに演習プリントによって指数の表現方法を理解する。 ・陽子・中性子・電子の質量を定義し、原子番号や質量数の表現ができる。また、原子番号と中性子数から未知の元素の質量数を決定できる。 ・同位体や放射性同位体について整理し、放射性同位体には原子の壊変や半減期があることをまとめる。 ・電子配置について理解し、原子番号1～20の元素の電子配置をそれぞれ表現できる。 ・元素の相互関係について理解する。 ・イオンの表現及び、イオン化エネルギーや電子親和力について理解する。また、イオンの大きさについて電子配置に基づいて考察する。 ・多くのイオンから組成式をつくる。 ・イオン結合・共有結合・配位結合・金属結合・分子間力のそれぞれの特徴について整理し、それらの結晶の性質についてまとめる。 ・電気陰性度と極性の関係を理解し、無極性分子や極性分子を化学式や構造式から判断する。 	【知識・技能】 ・指数の計算について正しく計算できる。 ・同位体と放射性同位体の区別ができ、半減期の計算ができる。 ・原子の電子配置を理解し、様々なイオンの価数と関連しながら体系的に理解している。 ・イオン結合と組成式の関係を理解している。また、さまざまなイオンから組成式を作成できる。 ・分子の共有結合について理解し、分子の形や多原子分子のなどの分類が正しく行える。 ・配位結合について理解し、錯イオンの命名ができる。 ・分子結晶について理解し、分子結晶は分子間力によって成立していることを整理するとともに分子間力の3つの力を正しく理解している。 ・金属結合と金属結晶の性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子の構造を正しく理解し、原子番号や質量数を正しく表現できる。 ・岩塩をカッターとトンカチでへき開させることを見せ、イオン結晶の性質である「硬くてもろい」について分子のモデル図を用いて考察している。 ・さまざまな化学式を電子式や構造式を用いて正しく表現できる。 ・分子の構造について、共有電子対や非共有電子対の観点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子の構造と元素の周期表について、学習した用語どうしのつながりを自身で整理し、客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 理科 科目 生物基礎

教科: 理科 科目: 生物基礎 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第1学年 A組~ F組
 教科担当者: (A組:市川典央) (B組:市川典央) (C組:市川典央) (D組:市川典央) (E組:市川典央) (F組:市川典央)

使用教科書: 東京書籍「生物基礎」(生基701)

教科 理科	の目標:
【知識及び技能】	自然の事物・現象に対する概念や原理、法則への理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	自然の事物・現象に関して、理科の見方・考え方を活用して論理的に考察する力、科学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に関して、主体的に関わり科学的に探究しようとする態度、視野を広く持ち科学的な根拠に基づいた多面的な判断をしようとする態度、それらの過程を振り返って自身の行動を評価・改善しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うとともに、論理的に考え科学的な見方・考え方を活用して表現することができる。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 生物の特徴 (1) 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の特徴について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物とエネルギーに関する事物、現象に進んで関わり、見通しをもち振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・地球上に多様な種がみられるのはなぜか考える。 ・相同器官を比較し、共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことを見いだす。 ・光学顕微鏡の各部の名称とはたらき、マイクロメーターの使い方と細胞の大きさの測定方法について理解する。 ・顕微鏡を用いてヒト口腔内上皮、タマネギの表皮、オオカナダモの細胞のスケッチを行う。 ・観察結果を比較し、生物のもつ共通性について考察する。 ・原核細胞と真核細胞の構成成分を比較し、異なる理由を考える。 ・単細胞生物と多細胞生物について理解する。 ・ATPが呼吸や光合成などの生体内でのエネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解する。 ・酵素の基本的な特徴を理解する。 ・酵素の質的特異性が何によってもたらされているのかについて理解する。 ・呼吸、光合成におけるグルコースの合成反応の概要とATPの合成について理解する。	【知識・技能】 ・生物は多様でありながらも共通する性質があることを見いだして理解する。 ・生物の共通性と起源の共有を関連付け、その共通性は共通の起源に由来することを理解する。 ・生命活動にはエネルギーが必要であることを理解させる。 ・全ての生物は光合成や呼吸などの過程でATPを合成していることを理解させる。 ・酵素の種類によって特定の物質にのみ作用すること(基質特異性)を理解している。 【思考・判断・表現】 ・観察、実験の結果や資料などを分析、解釈し、生物は多様だが共通性も持っていることを見いだす。 ・生命活動はエネルギーを用いていることを、日常生活と関連付けて考察している。動物のエネルギーの獲得方法を植物の取り入れ方と対比して考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の特徴及び代謝について、学習した用語どうしのつながりを自身で整理し、客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1
1 生物の特徴 (2) 遺伝子とその働き 【知識及び技能】 遺伝子とその働きについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とその働きについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子とその働きに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命の神秘をミクロの視点から捉えようとする態度を養う	・遺伝子の本体はDNAであることを理解する。 ・DNAの二重らせん構造の特徴を理解する。 ・DNAの複製が二回起こるとどうなるかを、図で表して説明する。 ・アミノ酸の種類と並び方によって、多様なタンパク質が生じることを問題演習を通して理解する。 ・RNAとDNAの特徴の違いを理解する。 ・転写及び翻訳の過程について理解する。 ・細胞周期には間期と分裂期があり、DNAの複製はS期に起こることを理解する。	【知識・技能】 ・遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を見いだして理解させる。 ・転写・翻訳について、DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列、さらにtRNAを介してアミノ酸配列へという情報の流れを理解する。 【思考・判断・表現】 ・DNAの塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。 ・DNAの特徴及び遺伝情報について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの構造や遺伝子の働きについて、科学的に探究しようとし、学習した用語どうしのつながりを自身で整理し、客観的に振り返ろうとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1

2 学期	2 ヒトの体の調節 (1) 神経系と内分泌系による調節 【知識及び技能】 ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節を理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、考察などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の伝達や体内環境維持、血糖値のホルモンによる調節など関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重する態度を養う。	・体内環境と体液の関係について理解する。 ・体内環境の維持と自律神経系による調節を関連付けて理解する。 ・交感神経と副交感神経の違いについて神経伝達物質の違いに着目して理解を深める。 ・ホルモンが細胞に受容され、機能するしくみについて理解を深める。 ・脳死をめぐる見解について、さまざまな立場の人の意見を調べ、自分の考えを深める。 ・血糖濃度の調節機構による体内環境の維持とホルモンの関係について見いだして理解する。 ・ここまでに学習した用語を使って、血糖濃度の調節のしくみを図で整理する。 ・インスリンと糖尿病の関係について理解する。	【知識・技能】 ・体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ・神経系は中枢神経系と末梢神経系に分けられることと、末梢神経系の一つである自律神経系は意識とは無関係に働くことを理解する。 ・脳死について、自律神経系の中核としての脳幹の働きと関連して触れる。 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解する。 ・血糖濃度の調節にかかわるホルモンの種類と、それぞれのはたらきについて理解する。 ・また、体内環境の維持を自律神経と関連付け、ホルモンと自律神経の働きによって体内環境が維持されていることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・体内での情報の伝達と体の調節について、日常生活と関連付けて説明しようとしている。脳死について、さまざまな立場の人の意見を理解し、自分の考えを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の伝達や体内環境維持、血糖値のホルモンによる調節などに関する事物・現象に進	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	2 ヒトの体の調節 (2) 免疫 【知識及び技能】 免疫について、免疫の働きのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 免疫のしくみについて、考察などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫の働きに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命の尊重に資する	・風邪の症状を考える。 ・自然免疫について分類や特性を理解する。 ・体内環境の維持の観点から血液凝固について理解する。 ・免疫のしくみについて俯瞰的に整理して理解する。 ・予防接種の仕組みと免疫記憶、二次応答について、新型コロナウイルスの視点から理解する。 ・花粉症発症のしくみを例にアレルギーの発症について理解を深める。 ・AIDSを例に免疫機能の低下による疾患について理解する。	【知識・技能】 ・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。 ・免疫記憶と二次応答について理解する。 ・アレルギー、自己免疫疾患、AIDSなどの疾患のメカニズムを理解する。 【思考・判断・表現】 ・免疫の働きについて、問題を見いだし見通しをもって考察を行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に学習に取り組む態度 免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	3 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系において、植生と遷移及び生態系とその保全について理解するとともに、それらの観察などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 植生と遷移、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・植物の種類によって、生存・成長に必要な光の量や成長速度が異なることを問題を通して理解する。 ・植生の状態は光条件や土壌に含まれる養分などに関係し、長期的に遷移していくことを問題を通して理解する。 ・気候と降水量の違いによって、様々なバイオームが形成されていることを理解する。 ・生態系は常に変動しているが、変動の幅は一定の範囲内に保たれていることを理解する。 ・生態系は常に変動しているが、変動の幅は一定の範囲内に保たれていることを理解する。 ・物質の循環と共にエネルギーが移動するが、エネルギーは循環しないことを図の整理を通して理解する。 ・人間は生態系から多くの恩恵を受けているが、人間の活動により、かく乱され多様性が損なわれている事を理解する。	【知識・技能】 ・生態系には多様な生物種が存在することを見いだして理解する。 ・生物の種多様性と生物間の相互関係を関連付けて理解する。 ・植生は、光条件や土壌に含まれる養分などに関係し、長期的に移り変わっていくことを理解する。 ・生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解させるとともに、生態系の保全の重要性を認識する。 【思考・判断・表現】 ・生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。 ・植生が移り変わる理由を光条件や土壌を基に考え、長期的な視点で遷移の様子が書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 植生と遷移、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返り	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
				○	○	○	合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育（ダンス）

教科：保健体育 科目：体育（ダンス） 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～F組
 教科担当者：（A～F組：佐藤）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（）

教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育（ダンス）	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元 陸上

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知能及び技能】 ○知識 ・現代的なリズムのダンスの名称や用語を理解できるようにする。 ○技能 ・リズムの特徴をとらえ、基本的なステップを覚えたり、体を大きく動かしたりして、リズムを全身で表現することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・動きを覚えるために、練習方法を工夫させる。 ・自分の考えている表現ができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ・ダンスの特性や学び方、リズムや動きの特徴を理解するとともに、自己表現をする楽しさや、仲間とともに踊る楽しさがあることを理解させる。	『現代的なリズムのダンス』 ・アップ、ダウン、さまざまなステップについて学ぶ。 ・ヒップホップ調の課題曲を使用して、模範演技をもとに踊る。 ・ポーズの部分や前奏の部分をグループに分かれて作成する。 ・発表会を行う。 ・発表会の振り返り。（ビデオ鑑賞）	【知能及び技能】 ○知識 ・身体運動に用いられる名称や用語を理解することができる。 ○技能 ・ダンスのお手本に沿って踊ることができる。 ・感じを込めて踊ったり、リズムに合わせて踊ったりすることができる。 ・ポーズなどメリハリをつけて、動くことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・動きを覚えるために、練習方法を自ら工夫している。 ・自分が考えた表現を見せるとともに、さらに動きを改善することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること、発表に向けて話し合いに貢献しようとする、個々の表現などを大切にしようとしている。				1
							3
							2
							1
							1
2 学期	【知能及び技能】 ○知識 ・創作ダンスの特性や学び方を理解し、創作の手順や発表、鑑賞の仕方を理解することができるようにする。 ○技能 ・表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方に変化をつけて表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・表現などの自己や仲間の課題を発見し、その課題について、言葉や文章などで表現し伝え合うことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに教え合い、作品や発表などの話し合いに貢献しようとするようにする。	『創作ダンス』 ・お題（言葉や物の名）を体で表現させる。 ・作品の課題曲を聞いて個やグループでイメージを考えさせる。 ・グループでの作品作り。毎時間、活動記録や改善点等を記録用紙に記入する。 ・発表会を行う。 ・発表会の振り返り。（ビデオ鑑賞）	【知能及び技能】 ○知識 ・用語や名称を理解している。 ・創作の手順や発表、鑑賞の仕方を理解することができる。 ○技能 ・ユニゾンやカノンを使って、作品を表現することができる。 ・空間の使い方や緩急強弱で変化をつけて、テーマに合った作品を踊ることができる。 ・作品の構成を考えて表現することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・テーマにふさわしいイメージ踊りの特徴を捉えた表現の仕方を考えることができる。 ・作品創作や発表会に向けて、話し合いの場面で、成果や改善すべきポイントを伝えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・よりよい作品表現ができるように練習を繰り返すことができる。 ・仲間との意見交換を行い、互いに認め、作品作りをすることができる。				1
							1
							10
							1
3 学期	持久走になるためなし						合計
							22

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育（器械体操）

教科：保健体育 科目：体育（器械体操） 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～F組
 教科担当者：（A～F組：飯田）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（）

教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育（器械体操） の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	【思考力、判断力、表現力等】
	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元 器械体操

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 技や系、技群、グループの名称を理解できるようにする。 自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己、他者観察の方法があることを理解できるようにする。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うとともに、発展技も取り入れ、それらを構成し演技することができるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> マット運動に自主的に取り組むとともに、良い演技をたたえたり、互いに助け合ったりしようとする こと、一人一人の違いを尊重することができるようにする。 	<p>『マット運動』</p> <p><回転系></p> <ul style="list-style-type: none"> 前転、後転、開脚前転、開脚後転、倒立前転、側方倒立回転、倒立ブリッジなど <p><巧技系></p> <ul style="list-style-type: none"> 片足平均立ち、倒立など 以上の基本的な技の動きについて滑らかに安定しておこなえるよう指示をする。 <p><回転系></p> <ul style="list-style-type: none"> 伸膝前転、伸膝後転、後転倒立、ロンダード、前方倒立回転など <p><巧技系></p> <ul style="list-style-type: none"> 片足側面水平立ち、Y字バランス、倒立ひねりなど 以上の発展的な技の動きについて滑らかに安定しておこなえるよう指示をする。 <ul style="list-style-type: none"> 演技構成 互いに演技を見せ合い、改善点等を指摘させる。 規定演技と自由演技の発表 発表の振り返り 	<p>【知識及び技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 回転系や巧技系など技によってグループがあることを理解している。 技を分析するために自他の動きを観察する方法があることを知っている。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 接転技群において、体をマットに順々に接触させて回転するための動きや、回転力を高めるための動きができる。 ほん転技群において、全身を支えたり、突き放したりするための着手の仕方や起き上がりやすくするための動きができる。 平均立ち技群において、バランスよく姿勢を保つための力の入れ方やバランスの崩れを復元させるための動きができる。 様々な技について構成し、滑らかに演技をすることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した技の行い方や組み合わせ方について、合理的な動きと自他の動きを比較して成果や改善すべきポイントを伝えることができる。 課題解決に必要な練習方法を考え伝えることができる。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> マット運動の学習に自主的に取り組むことができる。 互いを認め合い、仲間に課題を伝えたり、補助をし合ったりして、技や構成などに教えることができる。 	○	○	○	18
2 学期		種目変更					
3 学期		種目変更					合計 18

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育（水泳）

教科： 0 科目： 体育（水泳） 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組
 教科担当者： （A～F組：佐藤） （A～F組：中村） （A～F組：飯田） （A～F組：竹園） （組： ） （組： ）
 使用教科書： （ ）

教科 0 の目標：
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育（水泳）	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元 水泳

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技術 <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、プルとキックのタイミングに合わせて呼吸を行い、ローリングをしながら伸びのある泳ぎをすることができる。 ・平泳ぎでは、プルとキックのタイミングに合わせて呼吸1回ごとに大きな伸びのある泳ぎをすることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見し書き残したりしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択する学習などに自主的に取り組んでいる。 ・自己の体力や技能の程度に応じて泳ぐ。 ・無理な潜水は意識障害の危険があるため行わない。 	<p>A 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水泳の授業を受けるに当たっての諸注意や成績の付け方などガイダンスを行う。 ○水慣れ後、2.5mを自己の課題に応じて泳ぐ。 ・クロールでは、水面上の腕をローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことや泳ぎの速さに応じて、顔を横に向ける大きさを調節して呼吸動作をすることを意識する。 ・平泳ぎでは肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかく、プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせてグライドをとり、1回の腕の動きで大きく進むことを意識する。 ・授業毎に振り返りシートを記入する <ul style="list-style-type: none"> ○記録会 <ul style="list-style-type: none"> ・2.5mをクロールと平泳ぎでタイム計測をする。 	<p>A 単元</p> <p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、速く泳ぐことが出来る。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで速く泳ぐことが出来る。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを振り返りレポートに書き残している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしてきたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
2 学 期	<p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技術 <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、プルとキックのタイミングに合わせて呼吸を行い、ローリングをしながら伸びのある泳ぎをすることができる。 ・平泳ぎでは、プルとキックのタイミングに合わせて呼吸1回ごとに大きな伸びのある泳ぎをすることができる。 ・背泳ぎでは、プルとキックのタイミングに合わせて呼吸を行い、ローリングをしながら伸びのある泳ぎをすることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見し、書き残したりしている。 ・自己や仲間の課題について、思考し判断したことを言葉や文章などで表したり、他者に分かりやすく伝えたりしている。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択する学習などに自主的に取り組んでいる。 ・自己の体力や技能の程度に応じて泳ぐ。 ・無理な潜水は意識障害の危険があるため行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○水慣れ後、2.5mを各泳法で泳ぐ。 ・クロールでは、水面上の腕をローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことや泳ぎの速さに応じて、顔を横に向ける大きさを調節して呼吸動作をすることを意識する。 ・平泳ぎでは肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかく、プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせてグライドをとり、1回の腕の動きで大きく進むことを意識する。 ・背泳ぎでは、水面上の腕は肘を伸ばし、肩を支点にして肩の延長線上に小指側からまっすぐ入水することや一連のストロークで、肩をスムーズにローリングさせることを意識する。 ・授業毎に振り返りシートを記入する ・各泳法のポイントや改善点を見つけてペアやグループで発表し、課題を意識して練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○記録会 <ul style="list-style-type: none"> ・2.5mを背泳ぎでタイム計測をする。 	<p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技術 <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、速く泳ぐことが出来る。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで速く泳ぐことが出来る。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことが出来る。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを振り返りレポートに書き残している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしてきたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
3 学 期	持久走を実施						合計 16

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育（陸上）

教科： 0 科目： 体育（陸上）

単位数： 2 単位

対象学年組： 第1学年 A組～ F組

教科担当者：（A～F組：竹園）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（）

教科 0

の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育（陸上）

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元 陸上

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学 期	A 単元 短距離・リレー 【知識及び技能】 ○知識：知識の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能：短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡しで次走者のスピードを十分高めることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとして、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○授業で扱う内容や成績の付け方などガイダンスをする。 ○様々なステップや変形ダッシュなどでウォーミングアップを行う ○スタート練習 ・クラウチングスタートの方法を説明し、自身にあった足の位置を確認して練習する。 ・スタートから、蹴りだし局面、加速局面を意識して走る ○50m走タイム計測 ○リレー ・諸ルールの説明 ・バトンパスの練習 ・タイム計測	【知識及び技能】 ○知識：各種目で用いられる技術の名称を認識している。 ・記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解している。 ・技術と関連させた補助運動や部分練習を取り入れ、繰り返ししたり、継続して行ったりすることで、結果として体力向上につながることを理解している。 ・自己の取り組むべき技術的な課題が明確になり、学習の成果高められることを理解できる。 ○技能「短距離走・リレー」 ・合理的なフォームを身に付けたり、バトンの受け渡しが次走者のスピードを十分高めたりして、個人やリレーチームのタイムを短縮したり、競走したりできるようにする。 ・スタートダッシュからの加速に伴って動きを変化させ滑らかに中間走につなげることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・陸上競技の特性を踏まえて、動きなどの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見したりしている。 ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択する学習などに自主的に取り組むことができる。 ・単に決められたルールやマナーを守るだけではなく、自らの意志で大切にしようとしている。 ・練習や記録会などで、仲間と互いに合意した役割に責任をもって自主的に取り組もうとしている。				5
	B 単元 ハードル走 【知識及び技能】 ○知識：知識の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法について理解している。 ○技能：ハードル走ではスピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとして、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○授業で扱う内容や成績の付け方などガイダンスをする。 ○様々なステップや変形ダッシュなどでウォーミングアップを行う ○ハードル走 ・第一ハードルまでの歩幅合わせ ・振り上げ足、抜き足のポイント解説後、練習 *スマートフォンで撮影してお互いに評価を改善する ・ハードル間を3歩（又は5歩）で進められるように練習（7.5, 8.0, 8.5m間隔を用意） ・タイム計測	【知識及び技能】 ○知識：各種目で用いられる技術の名称を認識している。 ・記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解している。 ・技術と関連させた補助運動や部分練習を取り入れ、繰り返ししたり、継続して行ったりすることで、結果として体力向上につながることを理解している。 ・自己の取り組むべき技術的な課題が明確になり、学習の成果高められることを理解できる。 ○技術「ハードル走」 ・インターバルのスピードをリズムカルにスピードを維持して勢いよく低くハードルを走り越すことができる。 ・インターバルでは、3又は5歩のリズムを最後のハードルまで維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 同上 【主体的に学習に取り組む態度】 同上				7
	C 単元 投擲 【知識及び技能】 ○知識：知識の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法について理解している。 ○技能：砲丸投げでは、立ち投げなどから砲丸を突き出して投げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとして、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	【砲丸投げ】 ・安全に実施するための方法、約束事について確認し、成績の付け方についても確認する。なお、砲丸は練習用砲丸を使用する。 ・砲丸の持ち方、フォームを確認して、練習 ・スタンディングでの練習 ・グライドでの練習 *スマートフォンでの撮影を通してフォームの改善を図る。 ・記録会 【ジャベリックスロー】 ・安全に実施するための方法、約束事について確認し、成績の付け方についても確認する。なお、用具にはターボジャブを使用する。 ・ターボジャブの持ち方、フォームを確認して、練習 ・スライドステップ、デリバリー局面、リカバリー局面の練習 *スマートフォンでの撮影を通してフォームの改善を図る。 ・記録会	【知識・技能】 ○知識 ・各種目で用いられる技術の名称を認識している。 ・記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解している。 ・技術と関連させた補助運動や部分練習を取り入れ、繰り返ししたり、継続して行ったりすることで、結果として体力向上につながることを理解している。 ・自己の取り組むべき技術的な課題が明確になり、学習の成果高められることを理解できる。 ○技術 ・正しいステップで投げることができる。 ・正しいフォームで投げることができる。 【思考・判断・表現】 同上 【主体的に学習に取り組む態度】 同上				4
2 学 期		種目変更により実施なし					
3 学 期		種目変更により実施なし					合計 16

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：（A・C組：竹園）（B・D・E・F組：飯田）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（大修館書店 新高等 保健体育 【50 大修館 保体702】）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

第1章（現代社会と健康）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・健康指数や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解させる。 ・健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることを理解させる。 	日本における健康課題の変遷	<p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 ・主体要因と環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方がどのように変化してきたのか理解する。 ・健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。 	健康の考え方と成り立ち	<p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	

	<p>・ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。 ・健康を保持・増進するための環境について理解する。</p> <p>・健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。 ・意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解する。</p>	<p>ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり</p> <p>健康に関する意思決定・行動選択</p>	<p>【知能及び技能】</p> <p>・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。</p> <p>・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
1 学期	<p>・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 ・新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解する。</p> <p>・感染症予防の三原則について理解する。 ・感染症を予防するために必要な社会および個人の取り組みについて理解する。</p> <p>・性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。 ・性感染症・エイズの予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。</p>	<p>現代における感染症の問題</p> <p>感染症の予防</p> <p>性感染症・エイズとその予防</p>	<p>【知能及び技能】</p> <p>・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。</p> <p>・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 生活習慣病の予防や回復のために必要な社会の取り組みについて理解する。 身体活動・運動と健康の関係について理解する。 身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。 食事と健康の関係について理解する。 健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 休養・睡眠と健康の関係について理解する。 適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解する。 がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 	<p>生活習慣病の予防と回復</p> <p>身体活動・運動と健康</p> <p>食事と健康</p> <p>休養・睡眠と健康</p> <p>がんの予防と回復</p>	<p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙による健康への影響について理解する。 喫煙による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 飲酒による健康への影響について理解する。 飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 	<p>喫煙と健康</p> <p>飲酒と健康</p> <p>薬物乱用と健康</p>	<p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 精神疾患の発症、回復のポイントを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。 心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。 	<p>精神疾患の特徴</p> <p>精神疾患への対応</p>	<p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうることで、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて言ったり書いたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
-------------	---	-----------------------------------	---	---	---	---	---

第2章（生涯を通じる健康）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> 思春期における心身の発達や性的成熟について理解する。 思春期に起こりやすい健康課題について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解する。 性行動の選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解する。 	<p>思春期と健康</p> <p>性意識の変化と性行動の選択</p>	<p>【知能及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚生活と健康との関係について理解する。 ・結婚生活における夫婦関係、親子関係による健康への影響について理解する。 	結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> 【知能及び技能】 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	5
	<ul style="list-style-type: none"> ・受精、妊娠、出産の過程と、それに伴う健康課題について理解する。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。 	妊娠・出産と健康					
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族計画の意義について理解する。 ・人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解する。 	家族計画					
合計							
35							

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～F組
 教科担当者：（A組：友田）（B組：友田）（C組：友田）（D組：友田）（E組：友田）（F組：友田）
 使用教科書：ON11(音楽之友社)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術を表現したり鑑賞したりする際に必要な知識を習得するとともに、多様な作品についてそれぞれの思いや意図に基づいた表現が出来るための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・様々な様式の音楽作品について理解を深める。 ・音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を養う。 ・読譜能力を高め、音楽理論について理解する。	・感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したたり、音楽を聴いてそのよさや価値観等を考えたりする。	・音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。 ・我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、そのよさを一層味わえる力を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
A 愛唱歌を歌う 【知識及び技能】 ・音楽を形作っている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解するとともに、曲にふさわしい発声や言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽の諸要素について、知覚したり感受したりしたことを総合的に考え、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	・指導事項 (ア)歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫させる。 (イ)曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。 (ウ)言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解させる。 (エ)曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けさせる。 (オ)他者との調和を意識して歌う技能を身に付けさせる。 ・教材 「翼をください」 「花は咲く」 「おおシャンゼリゼ」 「校歌」	○			○	【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音楽を形作っている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方、他者との長和を意識して歌う能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・音楽の諸要素について、知覚したり感受したりしたことを総合的に考え、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と音楽の構造との関りに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱表現に取り組もうとしている。	○	○	○	8
Bアルトリコーダーに親しむ 【知識及び技能】 ・アルトリコーダーを演奏するための最低限の技能を身に付け、曲想を活かすための技法の効果を理解する。 ・英語音名による読譜に慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楽曲の構成や諸技法の音楽的効果を考えながら表現を工夫するとともに、表現の中で学んだ諸技法とその効果に注意しながら鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想を生かした技法や楽器の特性との関わりに関心をもち、主体的に表現や鑑賞に取り組むとともに、リコーダーの音色の美しさを味わう。	・指導事項 (ア)リコーダー表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持ってリコーダー表現を創意工夫させる。 (イ)曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解させる。 (ウ)曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けさせる。 ・教材 「カノン」 「ドレミの歌」		○		○	【知識・技能】 ・アルトリコーダーを演奏するための最低限の技能を身に付け、曲想を活かすための技法の効果を理解している。 ・英語音名について理解し、英語音名で楽譜を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくっている旋律やテクスチュア、楽曲の構成や各技法による音色を知覚し、それらの働きを感受するとともに、それらの関わりを考えながら、その効果を生かした表現を工夫している。 ・音楽を形づくっている旋律やテクスチュア、楽曲の構成や各技法による音色を知覚し、それらの働きを感受するとともに、それらの関わりを考えながら聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞を通して、学んだリコーダーの技法やその表現上の効果を聴き取ろうとしている。	○	○	○	8
Cリズムアンサンブルの楽しさを味わう 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫をしてリズムアンサンブルにふさわしい音楽表現をできる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各パートのリズムや強弱を知覚し、お互いのかかわりについて考え、そこから感受したことをふまえて、表現意図をもつとともに面白さ・良さを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に取り組むことでアンサンブルの楽しさを味わう。	・指導事項 (ア)アンサンブル表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持ってアンサンブル表現を創意工夫させる。 (イ)反復・変化・対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けさせる。 (ウ)主体的・協働的に取り組ませ、アンサンブルの楽しさを味わわせる。 ・教材 「Beat Canon」 「野菜の気持ち」			○	○	【知識・技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫をしてリズムアンサンブルにふさわしい音楽表現をできる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各パートのリズム・テンポ・強弱・反復等の関係性が重要であることを理解し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、アンサンブルとして合わせることへの表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アンサンブル活動がもつ楽しさや、アンサンブル技能の向上に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8

2 学 期	D ミュージカルに親しむ 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わり、登場人物の歌う様々なナンバーの表現形態の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感じ、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、登場人物の心情を捉えて、イメージをもって歌唱表現に創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ミュージカルに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。	・指導事項 (ア) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫させる。 (イ) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。 (ウ) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけさせる。 ・教材 「ウエストサイドストーリー」より「Tonight」 「アラジン」より「A Whole New World」	○	○	○	○	○	○	○	16	
	E アルトリコーダー2重奏 【知識及び技能】 ・旋律とベース音の関係について理解し、お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付ける。 ・パートナーソングについてその構造を理解し、お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付ける。 ・英語音名による読譜に慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楽曲の構成による音楽的效果を考えながら表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仲間と主体的・協働的にアンサンブル活動に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 (ア) 旋律とベース音の関係について理解させる。 (イ) パートナーソングについてその音楽的構造を理解させる。 (ウ) お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付けさせる。 (エ) 英語音名による読譜に慣れさせる。 (オ) 仲間と主体的・協働的にアンサンブル活動に取り組ませる。 ・教材 「少年時代」 「チェリー」 「小さな世界」	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	F 交響詩 【知識及び技能】 ・管弦楽の編成について学ぶ。 ・交響詩について学ぶとともにゲーテの「魔法使いの弟子」のあらすじを理解する。 ・曲想と音楽の構造から、原作のあらすじとの関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・旋律やテンポの変化との関連を味わって鑑賞する。 ・主要テーマと全音階による同テーマの違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・管弦楽の表現力の豊かさや楽器の音色の多様性に関心をもつ。 ・音楽に対する感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を養う。	・指導事項 (ア) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わわせる。 (イ) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解させる。 (ウ) 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えさせる。 ・教材 交響詩「魔法使いの弟子」他	○	○	○	○	○	○	○	○	4
3 学 期	G ヨーロッパの歌 【知識及び技能】 ・イタリア語やドイツ語の発音の特徴を捉えて、リズム・旋律・ハーモニーの関わりを理解し、歌う。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌唱表現するか自分なりの考えをもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヨーロッパの歌について関心を持ち、それぞれの楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組む。	・指導事項 (ア) イタリア語やドイツ語の発音の特徴を理解させる。 (イ) 言葉（歌詞）のリズムと旋律の関わりについて理解させる。 (ウ) 歌詞の内容、曲想を理解させ、楽曲に合わせた表現を考えさせる。 ・教材 「野ばら」（シューベルト、ウェルナー） 「O Sole mio」他	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	H ギターに親しむ 【知識及び技能】 ・楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につける。 ・曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色やコードの響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて自分なりに考えながら表現する。 【学びに向かう力、表現力等】 ・ギターの独奏やアンサンブルの演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。	・指導事項 (ア) 楽典の初歩として音階とダイアグラムについて指導する。 (イ) ギターの楽曲に親しみをもたせ、ギターを弾くことに興味をもたせる。 (ウ) コード表から簡単な和音（コード）を弾けるようにさせる。 ・教材 音階練習プリント 「アニーローリー」 「Good Morning To All」	○	○	○	○	○	○	○	○	6 合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術科 科目 美術 I

教科：芸術科 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（ AB組：阿部 ） （ CD組：阿部 ） （ EF組：阿部 ）

使用教科書：（ 日本文教出版 高校生の美術 1 ）

教科 芸術科 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	A 校内をスケッチしよう（絵画） 【知識及び技能】 ・建物内の造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解する。 ・鉛筆の使い方を理解し、効果的にその特性を活かし、表す。 ・スケッチという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことからスケッチをする対象を生成し、表現形式の特性を生かし、構図や明暗などを考え創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に校内の風景を、見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい風景像などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。	○		○	【知識及び技能】 ・建物内の造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ・鉛筆の使い方を理解し、効果的にその特性を活かし、表している。 ・スケッチという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことからスケッチをする対象を生成し、表現形式の特性を生かし、構図や明暗などを考え創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に校内の風景を、見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい風景像などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	A 心の窓を描こう（絵画） 【知識及び技能】 ・色彩・質感（マチエール）などの造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解する。 ・アクリル絵の具を理解し、効果的にその特性を活かし、表す。 ・アクリル絵画という表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから対象を生成し、表現形式の特性を生かし、色彩・構図や質感などを考え創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に抽象絵画を、見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい内面の世界などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。	○		○	【知識及び技能】 ・色彩・質感（マチエール）などの造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ・アクリル絵の具を理解し、効果的にその特性を活かし、表している。 ・アクリル絵画という表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身が感じ取ったことや考えたことから対象を生成し、表現形式の特性を生かし、色彩・構図や質感などを考え創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に抽象絵画を、見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい内面の世界などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	○			22

2 学 期	<p>A ステンドグラスをつくろう (デザイン)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩・構図・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解する。 ・トランスパレントの素材感を理解し、その特性を活かし、効果的に表す。 ・ステンドグラスという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が感じ取ったことや考えたことから対象を生成し、表現形式の特性を生かし、色彩・構図などを考え創造的な表現の構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にステンドグラスを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい世界観などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ステンドグラスのデザインを考える ○カッティング技法の習得をする ○トランスパレントを用い、色の混色について学び、デザインにかさず <p>・教材</p> <p>トランスパレント、カッティングナイフ、カッター、はさみ、のり、黒画用紙、ラミネーター</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>○Teamsや作品の鑑賞を行い、意見交換をしながら表現の視野を拡げる</p>			<p>A ステンドグラスをつくろう (デザイン)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩・構図・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ・トランスパレントの素材感を理解し、その特性を活かし、効果的に表している。 ・ステンドグラスという表現方法の中で、創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が感じ取ったことや考えたことから対象を生成し、表現形式の特性を生かし、色彩・構図などを考え創造的な表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にステンドグラスを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい世界観などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 		28
3 学 期	<p>A Shop Produce～オリジナルのお店をつくろう (デザイン)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の企画したお店の目的を考え、意図に応じて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現方法を追求して創造的に表す。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表す。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの機能や効果、表現形式の特性を考え創造的な表現の構想を練る。 ・SHOPデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にお店の企画を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。 ・主体的に企画したお店企画のよさや美しさを感じ取り、制作者の表したい商品の美的価値などについて考え、見方や感じ方を深め、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループ共同でオリジナルお店の企画を行う <ol style="list-style-type: none"> ① お店のアイデアだし ② ロゴデザイン ③ WEBデザイン ④ サンプル商品 ⑤ 企画のプレゼンテーションを行う <p>・教材</p> <p>画用紙、ペン、色鉛筆、アクリル絵の具、樹脂粘土 Adobe Express</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>○Adobe Expressを活用し、ロゴデザイン、WEBデザインを行う</p> <p>○Teamsや作品を用いてプレゼンテーションを行う。中間講評や最終プレゼンテーションを通して、意見交換をしながらデザインの質を向上させる。</p>			<p>A Shop Produce～オリジナルのお店をつくろう (デザイン)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店のロゴやWEBデザインの色彩、構図などの性質や、それらが消費者に対して与える効果などを理解している。 ・お店企画の目的や機能を考え、意図に応じて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの機能や効果、表現形式の特性を考え創造的な表現の構想を練っている。 ・SHOPデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にお店の企画を見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・主体的に企画したお店企画のよさや美しさを感じ取り、制作者の表したい商品の美的価値などについて考え、見方や感じ方を深め、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 		16
						合計	70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位
対象学年組：第1学年 A組～F組
教科担当者：(A～F組：中野)
使用教科書：書道 I (東京書籍)

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術科書道として、書体の成立および変遷により、現在使われている文字がどのように出来たのかを理解し、毛筆の特性である弾力性を活かした書写能力を身に着けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】課題となる古典（過去のすぐれた作品）を見て、特徴や注意点を見つける鑑賞力を高め、その特徴などを表現するには筆をどう扱い動かせばよいかを考え、的確に表現する（書く）能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】書を学習して身につくもの一つに集中力がある。作品をまとめていく過程では集中力は非常に大切な要素となる。また、一点だけを見るのではなく、全体を見ながら作品と向き合っていく、上手く書けない部分（問題）を修正（改善）する力を身につけていく。それが日常生活に活かされるように。

科目 書道 I の目標：

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains detailed learning objectives for the subject.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 表現 (漢, 仮), 鑑賞, 評価規準, 知, 思, 態, 配当時間. It details the lessons for the first semester and the school year.

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

外国語

科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語

科目： 英語コミュニケーションⅠ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者： （ A組：谷口 ） （ B組：青木 ） （ C組：谷口 ） （ D組：青木 ） （ E組：谷口 ） （ F組：青木 ）

使用教科書： （ 第一学習社 CREATIVE English Communication Ⅰ ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】外国語の理解を深めながら、その知識を実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し表現し伝え合う力を養う

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化の理解を深め、主体的、自立的に外国語によるコミュニケーションを図る態度を養う

科目 英語コミュニケーションⅠ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞く事、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手。話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ ） （ ）	話 （ ） （ ）	書					
Lesson1 to-不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ウェブサイトの情報の特徴を理解しようとしている。	<題材内容とねらい> ・夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自身の「目標達成シート」を書くことができる。 <文型・文法事項> ・to-不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ウェブサイトの情報の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすく「目標達成シート」を書こうとしている。										
1 学 期		○	○	○	○	○		○	○	○	14

1 学期	<p>Lesson2 現在完了形、分詞の形容詞用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 日本および世界の「弁当文化」についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 Q&Aサイトなどに投稿する場合の注意点を理解し、読み手に配慮して、わかりやすく投稿文を書こうとしている。</p>	<p><題材内容とねらい> ・日本および世界の「弁当文化」についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、コンテストに応募することを想定した弁当について説明することができる。 <文型・文法事項> ・現在完了形、分詞の形容詞用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語のリズムやイントネーションに注意して、英文を音読することができる。 <場面・状況など> ・Q&Aサイトなどに投稿する場合の注意点を理解し、読み手に配慮して、わかりやすく投稿文を書こうとしている。 ・聞き手に配慮して、コンテストに応募することを想定した弁当についてわかりやすく説明しようとしている。</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 [聞くこと] 英語のリズムやイントネーションを理解し、その知識を活用して、弁当に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 文法事項などを理解し、その知識を活用して、弁当に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 話すこと（やり取り） 英語のリズムやイントネーションの知識を活用して、Part 1で紹介された弁当とPart 4で紹介されたキャラ弁を比較しながら、話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 英語のリズムやイントネーションの知識を活用して、弁当に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のQ&Aサイトの特徴を理解し、その知識を活用して、題材内容に関連した自分の考えや、自分の理想の弁当の説明を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 弁当に関する題材内容を聞いて、その概要を捉えている。 [読むこと] 弁当に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 話すこと（やり取り） Part 1で紹介された弁当とPart 4で紹介されたキャラ弁を比較しながら、話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 弁当に関する題材内容や、それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや、自分の理想の弁当の説明を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に弁当に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に、主体的・自律的に弁当に関する題材内容を読み取ろうとしている。 話すこと（やり取り） 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的にPart 1で紹介された弁当とPart 4で紹介されたキャラ弁を比較しながら、話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に弁当に関する題材内容や、それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや、自分の理想の弁当の説明を書いて伝えようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○	○	○		○	○		1	

<p>Lesson3 現在完了進行形，関係代名詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 携帯電話の発展についての確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し，聞き手に配慮して，わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。</p>	<p><題材内容とねらい> ・携帯電話の発展についての確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，未来の携帯電話を想像し，それについてプレゼンテーションをすることができる。 <文型・文法事項> ・現在完了進行形，関係代名詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・意味のまとまりに注意して，英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し，聞き手に配慮して，わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている</p>					<p>【知識・技能】 [聞くこと] 英語の意味のまとまりを理解し，その知識を活用して，携帯電話に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 英語の意味のまとまりや文法事項などを理解し，その知識を活用して，携帯電話に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと（やり取り）] 英語の意味のまとまりの知識を活用して，Part 4で紹介された未来の携帯電話とActivity Plusで紹介された未来の携帯電話を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 英語の意味のまとまりの知識を活用して，携帯電話に関する題材内容を話して伝え合っている。 [書くこと] 文法事項や英語のプレゼンテーションの特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，未来の携帯電話のプレゼンテーションのアウトラインを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 携帯電話に関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。 [読むこと] 携帯電話に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと（やり取り）] Part 4で紹介された未来の携帯電話とActivity Plusで紹介された未来の携帯電話を比較しながら，話して伝え合っている。 [話すこと（発表）] 携帯電話に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，未来の携帯電話のプレゼンテーションのアウトラインを書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に携帯電話に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に携帯電話に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 4で紹介された未来の携帯電話とActivity Plusで紹介された未来の携帯電話を比較しながら，話して伝え合おうとしている。 [話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に携帯電話に関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，未来の携帯電話のプレゼンテーションのアウトラインを書いて伝えようとしている。</p>				<p>14</p>
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----------

1 学期	<p>Lesson4 助動詞+be+過去分詞, It seems that …について理解を深め, これらを適切に活用することができる。絶滅危惧種の保護のあり方について的確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。ポスターの構成や作成方法を理解し, 聞き手や読み手に配慮して, わかりやすくポスターを作成し, それを説明しようとしている。</p>	<p><題材内容とねらい> ・絶滅危惧種の保護のあり方についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, 絶滅危惧種の保護を訴えるポスターを作り, それを説明することができる。 <文型・文法事項> ・助動詞+be+過去分詞, It seems that …について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・ディスコースマーカに注意して, 英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ポスターの構成や作成方法を理解し, 聞き手や読み手に配慮して, わかりやすくポスターを作成し, それを説明しようとしている。</p>						<p>【知識・技能】 [聞くこと] ディスコースマーカを理解し, その知識を活用して, 絶滅危惧種に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] ディスコースマーカや文法事項などを理解し, その知識を活用して, 絶滅危惧種に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと(やり取り)] ディスコースマーカの知識を活用して, Part 1で紹介されたパンダとActivity Plusで紹介されたホッキョクグマを比較しながら, 話して伝え合っている。 [話すこと(発表)] ディスコースマーカの知識を活用して, 絶滅危惧種に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のポスターの特徴を理解し, その知識を活用して, 題材内容に関連した自分の考えや, 絶滅危惧種に関するポスターを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 絶滅危惧種に関する題材内容を聞いて, その概要を捉えている。 [読むこと] 絶滅危惧種に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと(やり取り)] Part 1で紹介されたパンダとActivity Plusで紹介されたホッキョクグマを比較しながら, 話して伝え合っている。 [話すこと(発表)] ホッキョクグマに関する題材内容や, それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや, 絶滅危惧種に関するポスターを書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に絶滅危惧種に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に, 主体的・自律的に絶滅危惧種に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと(やり取り)] 聞き手に配慮しながら, 主体的・自律的にPart 1で紹介されたパンダとActivity Plusで紹介されたホッキョクグマを比較しながら, 話して伝え合おうとしている。 [話すこと(発表)] 聞き手に配慮しながら, 主体的・自律的に絶滅危惧種に関する題材内容や, それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら, 主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや, 絶滅危惧種に関するポスターを書いて伝えようとしている。</p>				14
定期考査		授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○	○	○		○	○		1	

2 学 期	<p>Lesson5 『おさるのジョージ』の作者の人生についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 知覚動詞・使役動詞+O+C (=原形不定詞)、関係代名詞whatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 インタビューにおける注意点を理解しようとしている。</p>	<p><題材内容とねらい> ・『おさるのジョージ』の作者の人生についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、好きなマンガ・アニメとその理由を説明することができる。 <文型・文法事項> ・知覚動詞・使役動詞+O+C (=原形不定詞)、関係代名詞whatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語の音の変化に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく好きなマンガ・アニメとその理由を説明しようとしている。</p>						<p>【知識・技能】 [聞くこと] 英語の音の変化を理解し、その知識を活用して、『おさるのジョージ』に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 文法事項などを理解し、その知識を活用して、『おさるのジョージ』に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと(やり取り)] 英語の音の変化の知識を活用して、Part 2～4で紹介された『おさるのジョージ』の原作者とActivity Plusで紹介された映画監督のインタビューを比較しながら、話して伝え合っている。 [話すこと(発表)] 英語の音の変化の知識を活用して、『おさるのジョージ』に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のインタビューの特徴を理解し、その知識を活用して、題材内容に関連した自分の考えや、自分の好きなマンガ・アニメに関する英文を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 『おさるのジョージ』に関する題材内容を聞いて、その概要を捉えている。 [読むこと] 『おさるのジョージ』に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと(やり取り)] Part 2～4で紹介された『おさるのジョージ』の原作者とActivity Plusで紹介された映画監督のインタビューを比較しながら、話して伝え合っている。 [話すこと(発表)] 『おさるのジョージ』に関する題材内容や、それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや、自分の好きなマンガ・アニメに関する英文を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に『おさるのジョージ』に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に、主体的・自律的に『おさるのジョージ』に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと(やり取り)] 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的にPart 2～4で紹介された『おさるのジョージ』の原作者とActivity Plusで紹介された映画監督のインタビューを比較しながら、話して伝え合おうとしている。 [話すこと(発表)] 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に『おさるのジョージ』に関する題材内容や、それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや、自分の好きなマンガ・アニメに関する英文を書いて伝えようとしている。</p>				14
-------------	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	----

2 学 期	<p>Lesson6 過去完了形・過去完了進行形, S+V+O (+O) (=疑問詞節) について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージを的確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ポスタープレゼンテーションにおける注意点を理解しようとしている。</p>	<p><題材内容とねらい> ・ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージを的確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, 幸福を感じるときについて説明することができる。 <文型・文法事項> ・過去完了形・過去完了進行形, S+V+O (+O) (=疑問詞節) について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・考えや意図をうまく伝えるための表現に注意して, 英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・ポスタープレゼンテーションにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して, わかりやすく幸福を感じるときについて説明しようとしている。</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 [聞くこと] ここまで学習した内容を理解し, その知識を活用して, ムヒカ大統領に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [読むこと] 文法事項などを理解し, その知識を活用して, ムヒカ大統領に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。 [話すこと (やり取り)] 考えや意図をうまく伝えるための表現の知識を活用して, Part 4の本文とActivity Plusのレポートを比較しながら, 話して伝え合っている。 [話すこと (発表)] 考えや意図をうまく伝えるための表現の知識を活用して, ムヒカ大統領に関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のポスタープレゼンテーションの特徴を理解し, その知識を活用して, 題材内容に関連した自分の考えや, 自分が幸福を感じるときを説明する英文を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] ムヒカ大統領に関する題材内容を聞いて, その概要を捉えている。 [読むこと] ムヒカ大統領に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと (やり取り)] Part 4の本文とActivity Plusのレポートを比較しながら, 話して伝え合っている。 [話すこと (発表)] ムヒカ大統領に関する題材内容や, それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや, 自分が幸福を感じるときを説明する英文を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的にムヒカ大統領に関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に, 主体的・自律的にムヒカ大統領に関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと (やり取り)] 聞き手に配慮しながら, 主体的・自律的にPart 4の本文とActivity Plusのレポートを比較しながら, 話して伝え合おうとしている。 [話すこと (発表)] 聞き手に配慮しながら, 主体的・自律的にムヒカ大統領に関する題材内容や, それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら, 主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや, 自分が幸福を感じるときを説明する英文を書いて伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	14
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○	○				○	○			1

Lesson7
 S+V+it+C+to-不定詞, 関係副詞について理解を深め, これらを適切に活用することができる。
 海洋プラスチック汚染についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。
 ブログなどのSNSの投稿文の特徴を理解しようとしている。

<題材内容とねらい>
 ・海洋プラスチック汚染についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。
 ・整理した内容を活用して, 世界的な環境問題の解決のためにできることについてパラグラフを書くことができる。
 <文型・文法事項>
 ・S+V+it+C+to-不定詞, 関係副詞について理解を深め, これらを適切に活用することができる。
 <五領域の知識・技能>
 ・パラグラフの構造に注意して, 英文を理解することができる。
 <場面・状況など>
 ・ブログなどのSNSの投稿文の特徴を理解しようとしている。
 ・読み手に配慮して, 世界的な環境問題の解決のためにできることについてわかりやすく書こうとしている。

○ ○ ○ ○ ○

【知識・技能】
 [聞くこと]
 主題文と支持文を理解し, その知識を活用して, 海洋プラスチック汚染に関する題材内容を聞く技能を身に付けている。
 [読むこと]
 主題文と支持文や文法事項などを理解し, その知識を活用して, 海洋プラスチック汚染に関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。
 [話すこと(やり取り)]
 主題文と支持文の知識を活用して, Part 4の本文とActivity Plusの記事を比較しながら, 話して伝え合っている。
 [話すこと(発表)]
 主題文と支持文の知識を活用して, ムヒカ大統領に関する題材内容を話して伝えている。
 [書くこと]
 文法事項や英語のSNSの特徴を理解し, その知識を活用して, 題材内容に関連した自分の考えや, 環境問題の解決のためにできることを説明するパラグラフを書いて伝える技能を身に付けている。
 【思考・判断・表現】
 [聞くこと]
 海洋プラスチック汚染に関する題材内容を聞いて, その概要を捉えている。
 [読むこと]
 海洋プラスチック汚染に関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。
 [話すこと(やり取り)]
 Part 4の本文とActivity Plusの記事を比較しながら, 話して伝え合っている。
 [話すこと(発表)]
 海洋プラスチック汚染に関する題材内容や, それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。
 [書くこと]
 題材内容に関連した自分の考えや, 環境問題の解決のためにできることを説明するパラグラフを書いて伝えている。
 【主体的に学習に取り組む態度】
 [聞くこと]
 主体的・自律的に海洋プラスチック汚染に関する題材内容を聞こうとしている。
 [読むこと]
 書き手の意図を念頭に, 主体的・自律的に海洋プラスチック汚染に関する題材内容を読み取ろうとしている。
 [話すこと(やり取り)]
 聞き手に配慮しながら, 主体的・自律的にPart 4の本文とActivity Plusの記事を比較しながら, 話して伝え合おうとしている。
 [話すこと(発表)]
 聞き手に配慮しながら, 主体的・自律的に海洋プラスチック汚染に関する題材内容や, それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。
 [書くこと]
 読み手に配慮しながら, 主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや, 環境問題の解決のためにできることを説明するパラグラフを書いて伝えようとしている。

○ ○ ○

2 学 期	<p>Lesson8 知識・技能 近藤絃子さんのストーリーを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。整理した内容を活用して、平和の定義について説明することができる。思考・判断・表現 仮定法過去、仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。キーワードや言い換え表現に注意して、英文を理解することができる。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ディスカッションにおける注意点を理解しようとしている。聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく平和の定義について説明しようとしている。</p>	<p><題材内容とねらい> ・近藤絃子さんのストーリーを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、平和の定義について説明することができる。</p> <p><文型・文法事項> ・仮定法過去、仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。</p> <p><五領域の知識・技能> ・キーワードや言い換え表現に注意して、英文を理解することができる。</p> <p><場面・状況など> ・ディスカッションにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく平和の定義について説明しようとしている。</p>						<p>【知識・技能】 [聞くこと] キーワード・言い換え表現を理解し、その知識を活用して、近藤絃子さんに関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [聞くこと] キーワード・言い換え表現を理解し、その知識を活用して、近藤絃子さんに関する題材内容を聞く技能を身に付けている。 [話すこと(やり取り)] キーワード・言い換え表現の知識を活用して、Part 1の講演とPart 3・4の本文を比較しながら、話して伝え合っている。 [話すこと(発表)] キーワード・言い換え表現の知識を活用して、近藤絃子さんに関する題材内容を話して伝えている。 [書くこと] 文法事項や英語のディスカッションの特徴を理解し、その知識を活用して、題材内容に関連した自分の考えや、平和をどのように定義するかを説明する英文を書いて伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 [聞くこと] 近藤絃子さんに関する題材内容を聞いて、その概要を捉えている。 [読むこと] 近藤絃子さんに関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。 [話すこと(やり取り)] Part 1の講演とPart 3・4の本文を比較しながら、話して伝え合っている。 [話すこと(発表)] 近藤絃子さんに関する題材内容や、それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。 [書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや、平和をどのように定義するかを説明する英文を書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的に近藤絃子さんに関する題材内容を聞こうとしている。 [読むこと] 書き手の意図を念頭に、主体的・自律的に近藤絃子さんに関する題材内容を読み取ろうとしている。 [話すこと(やり取り)] 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的にPart 1の講演とPart 3・4の本文を比較しながら、話して伝え合おうとしている。 [話すこと(発表)] 聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に近藤絃子さんに関する題材内容や、それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。 [書くこと] 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや、平和をどのように定義するかを説明する英文を書いて伝えようとしている。</p>				14
	定期考査	授業で学習している内容をきちんと習得できているかの確認をする。	○	○								1

<p>Lesson9 分詞構文（現在分詞），関係詞の非制限用法について理解を深め，これらを適切に活用することができる。将来の人間とAIのあるべき姿についての確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。</p> <p><題材内容とねらい> ・将来の人間とAIのあるべき姿についての確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，人間とAIが共存する将来について説明することができる。</p> <p><文型・文法事項> ・分詞構文（現在分詞），関係詞の非制限用法について理解を深め，これらを適切に活用することができる。</p> <p><五領域の知識・技能> ・事実や情報をわかりやすく伝えるための表現に注意して，英文を理解することができる。</p> <p><場面・状況など> ・広告の構成を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく人間とAIが共存する将来について説明しようとしている。</p>						<p>【知識・技能】 [聞くこと] 事実や情報をわかりやすく伝えるための表現を理解し，その知識を活用して，AIに関する題材内容を聞く技能を身に付けている。</p> <p>[読むこと] 事実や情報をわかりやすく伝えるための表現や文法事項などを理解し，その知識を活用して，AIに関する題材内容を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>[話すこと（やり取り）] 事実や情報をわかりやすく伝えるための表現の知識を活用して，Part 1・2とActivity PlusのAI活用事例を比較しながら，話して伝え合っている。</p> <p>[話すこと（発表）] 事実や情報をわかりやすく伝えるための表現の知識を活用して，AIに関する題材内容を話して伝えている。</p> <p>[書くこと] 文法事項や英語の広告の特徴を理解し，その知識を活用して，題材内容に関連した自分の考えや，人間とAIが共存する将来を説明する英文を書いて伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 [聞くこと] AIに関する題材内容を聞いて，その概要を捉えている。</p> <p>[読むこと] AIに関する題材内容の概要や書き手の意図を捉えている。</p> <p>[話すこと（やり取り）] Part 1・2とActivity PlusのAI活用事例を比較しながら，話して伝え合っている。</p> <p>[話すこと（発表）] AIに関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えている。</p> <p>[書くこと] 題材内容に関連した自分の考えや，人間とAIが共存する将来を説明する英文を書いて伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 [聞くこと] 主体的・自律的にAIに関する題材内容を聞くようとしている。</p> <p>[読むこと] 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的にAIに関する題材内容を読み取ろうとしている。</p> <p>[話すこと（やり取り）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にPart 1・2とActivity PlusのAI活用事例を比較しながら，話して伝え合おうとしている。</p> <p>[話すこと（発表）] 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的にAIに関する題材内容や，それに関連する自分自身の考えを話して伝えようとしている。</p> <p>[書くこと] 読み手に配慮しながら，主体的・自律的に題材内容に関連した自分の考えや，人間とAIが共存する将来を説明する英文を書いて伝えようとしている。</p>				<p>14</p>
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	-----------

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科： 外国語 科目： 論理・表現 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組
 教科担当者： （ AB組：北原 谷口 渡部 ） （ CD組：渡部 北原 青木 ） （ EF組：青木 北原 渡部 ）
 使用教科書： （ いいずな書店 English Logic and Expression I be Clear ）

教科 外国語 の目標：
 【知識及び技能】外国語の理解を深めながら、その知識を実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能を身に付ける
 【思考力、判断力、表現力等】日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し表現し伝え合う力を養う
 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化の理解を深め、主体的、自立的に外国語によるコミュニケーションを図る態度を養

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1. I Meet in People 【知識及び技能】 現在のことを伝えるときには「動詞の現在形」を使う。いつもすることやしている最中のことやこれからの予定を表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・暗記した例文を使ってクラスメイトのことを紹介する。 ・朝の習慣について書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようになる。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。	・指導事項 【話題】 初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 【文法】 現在形のさまざまな用法を理解する。 【機能】 応答する/理由を述べる：相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べるができる。 【表現】 話す[発表]：自分やパートナーの紹介ができる。 書く：学校のルールや好きな科目について、理由や具体例などを加えて説明できる。 ・副教材					聞くこと ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。 ・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 読むこと ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図を読み取ることができる。 ・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。 話すこと ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。 書くこと ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフや構造などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。					3
1 学 期		○	○	○	○						

1 学期	<p>3. Making Plans</p> <p>【知識及び技能】 基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて、書いたり話したりすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・旅行の経験について詳細に話すことができるようにする。 ・最近週末にしたことや予定していることについて、具体的に詳細を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>話題 旅行・観光：旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。</p> <p>文法 時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて、書いたり話したりすることができる。</p> <p>機能 激励する・励ます／計画する ・予定する：会話の相手を激励したり、励ましたりすることができる。また、計画したり、予定したりいることを伝え合うことができる。</p> <p>表現 話す[発表]：旅行の経験について詳細に話すことができる。 書く：最近週末にしたことや予定していることについて、具体的に詳細を書いて伝えることができる。</p> <p>・副教材 ・一人1台端末の活用 等</p>					<p>聞くこと ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。 ・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。</p> <p>読むこと ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図を読み取ることができる。 ・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。</p> <p>話すこと ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。</p> <p>書くこと ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。</p>				5
---------	---	---	--	--	--	--	---	--	--	--	---

2 学期	<p>6. Food Culture</p> <p>【知識及び技能】 受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の買い物について詳細に伝えることができるようにする。 ・お薦めの小説や最近驚いたことについて、情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>話題 日常生活：日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れを学び、自分の感情や物事を詳細に表現することができる。</p> <p>文法 受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。</p> <p>機能 原因・影響を表す／喜び・驚きを表す：様々な表現を用いて、原因や影響について表現することができる。また、喜びや驚きの感情を表すことができる。</p> <p>表現 話す[やり取り]：自身の買い物について詳細に伝えることができる。</p> <p>書く：お薦めの小説や最近驚いたことについて、情報や考え、気持ちなどを適切に書いて伝えることができる。</p> <p>・一人一台端末活動 等</p>	○	○	○	○	○	<p>聞くこと ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。 ・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。</p> <p>読むこと ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図を読み取ることができる。 ・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。</p> <p>話すこと ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。</p> <p>書くこと ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。</p>	○	○	○	○	3
	定期考査		○	○					○	○	1		

2 学 期	<p>7. School Life</p> <p>【知識及び技能】 不定詞：不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・受け取った贈り物について詳細に伝えることができるようにする。 ・自分の夢、高校生が日常生活で行うべき大切なこと、日常生活でしないように気を付けていることについて、自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。</p>	<p>・指導事項 話題 交流・交際：誕生日会を舞台に繰り広げられる友人同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。</p> <p>文法 不定詞：不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。</p> <p>機能 感謝する／謝罪する／弁解する：感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝えることができる。</p> <p>表現 話す[やり取り]：受け取った贈り物について詳細に伝えることができる。</p> <p>書く：自分の夢、高校生が日常生活で行うべき大切なこと、日常生活でしないように気を付けていることについて、自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。</p> <p>・副教材 一人一台端末活動 等</p>	○	○	○	○	○	<p>聞くこと ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。 ・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。</p> <p>読むこと ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図を読み取ることができる。 ・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。</p> <p>話すこと ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。</p> <p>書くこと ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。</p>	○	○	○	4
-------------	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2 学 期	<p>8. Daily Life</p> <p>【知識及び技能】 動名詞：動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツをすることの利点について発表することができるようにする。</p> <p>書・得意なスポーツや活動、楽しみにしていることについて、情報や具体的を加えて詳細に書いて説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>話題 スポーツ・健康：スポーツチームについて発話される会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。</p> <p>文法 動名詞：動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。</p> <p>機能 誘う・申し出る／推薦する：相手を誘ったり、申し出たりする表現を使うことができる。また、相手に物事を適切に推薦することができる。</p> <p>表現 話す[発表]：スポーツをすることの利点について発表することができる。</p> <p>書く：得意なスポーツや活動、楽しみにしていることについて、情報や具体的を加えて詳細に書いて説明することができる。</p> <p>・副教材 一人一台端末活動 等</p>					<p>聞くこと</p> <p>・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。 ・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。</p> <p>読むこと</p> <p>・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図を読み取ることができる。 ・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。</p> <p>話すこと</p> <p>・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。</p> <p>書くこと</p> <p>・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。</p>				5
	定期考査										1

3 学 期	<p>9. Transportation Issues</p> <p>【知識及び技能】 名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分自身や自身の性格について発表することができるようにする。 家族や友人と撮った写真や日本人の一般的な特徴について、具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができるようにする。 ・聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>話題 メディア・コミュニケーション：留学生とのやり取りから、メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。</p> <p>文法 分詞：名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。</p> <p>機能 描写する／判断の根拠を述べる：人や物事について情報を加えて詳しく説明することができる。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができる。</p> <p>表現 話す[発表]：自分自身や自身の性格について発表することができる。 書く：家族や友人と撮った写真や日本人の一般的な特徴について、具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができる。</p> <p>・副教材 一人一台端末活動 等</p>					<p>聞くこと ・リズムなどの音声上の特徴を理解できる。 ・日常的・社会的な話題の英文を聞く際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を聞いて、必要な情報や概要、要点、話し手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を聞くことができる。</p> <p>読むこと ・語順や意味のまとまりなどを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題の英文を読む際に、語順や意味のまとまりなどの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題の英文を読んで、必要な情報や概要、要点、書き手の意図を聞き取ることができる。話し手の意図を読み取ることができる。 ・書き手の意図などを念頭に、主体的・自律的に英文を読むことができる。</p> <p>話すこと ・リズムやイントネーションなどの音声上の特徴を理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う際に、音声上の特徴などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく話して伝え合うことができる。聞き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語でやり取りすることができる。</p> <p>書くこと ・語順やパラグラフの構造などを理解することができる。 ・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを書いて伝える際に、語順パラグラフやの構造などの知識を活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文で分かりやすく書いて伝えることができる。読み手に配慮しながら、主体的・自律的に英文を書くことができる。</p>				5
-------------	--	---	--	--	--	--	---	--	--	--	---

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A組～ F組
 教科担当者： （A組：伊藤佳祐）（B組：伊藤佳祐）（C組：伊藤佳祐）（D組：伊藤佳祐）（E組：伊藤佳祐）（F組：伊藤佳祐）
 使用教科書： （（実教7情I705）最新情報 I）

教科 情報 の目標：
 【知識及び技能】 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と情報を適切に扱うための基本的な論理や方法を理解する。
 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報を主体的に収集・判断・処理を行い、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】 社会生活の中で情報が果たしている役割や影響を理解し、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報を活用した問題の発見・解決等の方法や、社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的に理解し、情報を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな資質・能力の三つの柱に沿った情報活用能力の整理意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けていること。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	オリエンテーション ・スマスク端末のセットアップ ・情報 I を学ぶ意義	【知識及び技能】 パソコンの基本的な操作が行える。 【思考力、判断力、表現力等】 これからの社会（society5.0）をより具体的に想像し、そのために必要な力を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報 I を学ぶ意欲をもっている。	○	○	○	3	
	情報社会の問題解決 【知識及び技能】 情報やメディアの特性、情報技術が社会に果たす役割や影響、問題解決の手法等を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切に活用し、効果的に問題を解決し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報モラルに配慮し、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付ける。	・問題解決 ・情報とメディアの特性 ・情報セキュリティ ・知的財産権 ・著作権 ・個人情報 ・情報モラル	【知識及び技能】 情報やメディアの特性を理解し、情報技術を効果的に活用して問題の発見・解決を行える。 情報に関する制度及びマナー等について、その背景を化学的にとらえ、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決に必要な情報やメディアを見極め、メディアリテラシーを身に付け、情報の分析、評価、効果的な表現が行える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報に関する法規や制度及びマナーの意義を理解し、情報社会において個人の果たす役割や責任について考察できる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 情報の科学的な見方・考え方を働かせ、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて受け手にわかりやすく伝える。そのために情報デザインの考えかたや方法を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して、効果的にコミュニケーションを行う態度を身に付ける。	・コミュニケーション ・情報デザイン ・デジタル表現	【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や手法を理解し表現する技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインの違いによる社会に与える影響の違いを理解し、責任ある情報発信を行う態度が身に付けている。	○	○	○	19
	単元テスト			○	○		1
	情報通信ネットワークとデータの活用 【知識及び技能】 情報通信ネットワークや情報システムの仕組みについて理解する。データの蓄積・管理・提供・収集・整理・分析する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを安全かつ効果的に活用する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付ける。	・情報通信ネットワークの仕組み ・情報通信ネットワークの構築 ・情報システム ・データの形式 ・ネットワークでのセキュリティ ・暗号化と認証システム ・数値的データの分析 ・量的データの分析	【知識及び技能】 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解すること。 データを蓄積、管理、提供方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に沿ったネットワークの構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること 【学びに向かう力、人間性等】 社会で使われる情報技術に目を向け、さらなる効果的な活用法について考え、情報社会に積極的に参画しようとする態度が身につく。	○	○	○	19
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>コンピュータとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算の方法について理解する。プログラムによって情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムによる表現方法を身につける。モデル化とシミュレーションの考え方を問題の適切な解決方法を考える際に行えるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活の中で使われているプログラムに目を向け、改善しようとするなど、情報社会に主体的に参画しようとする態度を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・論理演算 ・アルゴリズムとプログラミング ・モデル化とシミュレーション 	<p>【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータで情報の内部表現と計算に関する限界について理解できている。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身につけられている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会や自然などにおける事象をモデル化・シミュレーションを行い、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身につける。</p>	○	○	○	9
	<p>定期考査</p>			○	○		1
						合計	70